

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-79417

(P2003-79417A)

(43)公開日 平成15年3月18日(2003.3.18)

(51)Int.Cl.	識別記号	F I	キーワード(参考)
A 4 5 B 25/24		A 4 5 B 25/24	Z 3 B 1 0 4
A 4 7 G 25/12		A 4 7 G 25/12	G 3 K 0 9 9

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 3 頁)

(21)出願番号 特願2001-324228(P2001-324228)

(22)出願日 平成13年9月16日(2001.9.16)

(71)出願人 594030579

泉 明博

北海道岩見沢市13条西4丁目7番地

(72)発明者 泉 明博

北海道岩見沢市13条西4丁目7番地

Fターム(参考) 3B104 WA01 WB04

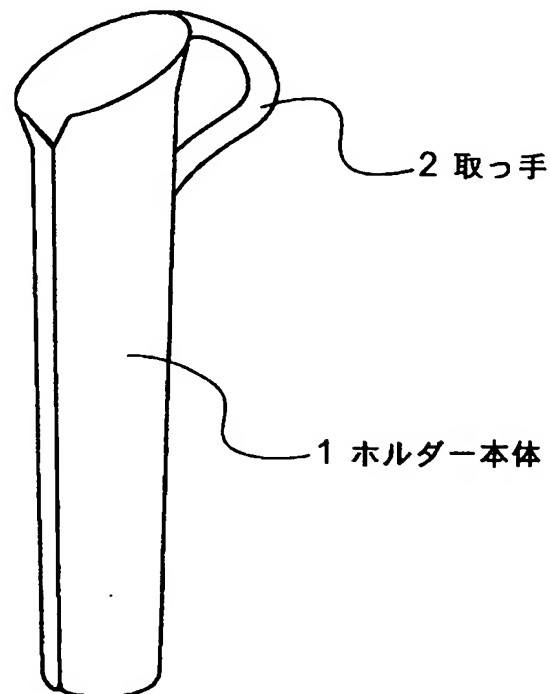
3K099 AA24 BA14 EA01

(54)【発明の名称】 傘携帯ホルダー

(57)【要約】

【課題】 傘を持って歩く時、傘の先を地面につけずにバランス良く楽に持て、濡れた傘に触れずに閉じた傘を丸める事ができ、電車など人込みでも体に密着でき濡れた傘で人に迷惑をかけない親切的な傘携帯ホルダーを提供します。

【解決手段】 ホルダー本体(1)に取っ手(2)を付けた傘携帯ホルダーである。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】ホルダー本体（1）に取っ手（2）を付けた傘携帯ホルダー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、傘をホルダー本体（1）に差し込み、取っ手（2）を持ち携帯を楽にする傘携帯ホルダーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、傘を覆うカバー状の物があつたが、取っ手の付いたホルダーはない。傘は通常柄を持つため傘の先が地面につく、そのため歩く時は腕を上げなくてはならず腕が疲れる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これには次のような欠点があつた。

（イ）傘を持って歩く時、傘の柄を持つと傘の先が地面につくため、腕を上げなくてはならず腕が疲れる。

（ロ）濡れた傘を丸め紐で留める時、手が濡れてしまう。

本発明は、これらの欠点を除くためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】ホルダー本体（1）に取っ手（2）を付けた傘携帯ホルダー。本発明は、以上のような構成よりなる傘携帯ホルダーである。

【0005】

【発明の実施の形態】次に本発明の実施例について説明する。ホルダー本体（1）は、傘を差し込み易くするため、斜めにラッパ状に広がった形状で、正面は分かており、差し込んだ傘の太さにより広がる。ホルダー本体（1）の材質は弾力性があり傘の太さにより広がる反発力で傘を保持します。本発明は以上のような構造で、これを使用する時は、取っ手（2）を持ちホルダー本体

2

（1）に閉じた傘をラッパ状に広がった方から回しながら差し込み携帯する。傘をさしている時、傘携帯ホルダーは取っ手（2）を傘の柄に入れたり、鞆の肩紐、ポケットなどに差し込み携帯出来る。なお図6は、ホルダー本体（1）に弾力性のある材質を使わず留め具を使用し留め具に傘の固定を委ねた傘携帯ホルダーである。そのためホルダー本体（1）を折り畳み式にした傘携帯ホルダーも出来ます。傘をさしている時は、傘携帯ホルダーを折り畳みポケットに入れて置くことが出来ます。

【0006】

【発明の効果】これには次のような効果がある。

（イ）傘携帯ホルダーの取っ手を持つ事で傘の先が地面に付かず、腕が下げられ腕が楽でバランスの良い携帯が出来る

（ロ）閉じた傘を回しながら傘携帯ホルダーに入れる事で、濡れた傘に手を触れず傘を丸めた状態に出来る。

（ハ）傘の先を下にした時、傘の濡れた上部分が傘携帯ホルダーでカバーされるため、体に密着でき、電車内や人込みの状況等で迷惑をかけず便利です。

（ニ）傘携帯ホルダーにベルトや紐を取り付け肩に掛けることが出来ます。傘の携帯に自由度を広げます。

本発明は、これらの効果をもたらすものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の斜視図である。

【図2】本発明の傘を入れた使用時の斜視図である。

【図面3】本発明の右側面図である。

【図4】本発明の右側断面図である。

【図5】本発明の使用時の右側面図である。

【図6】本発明の留め具を使用した斜視図である。

【符号の説明】

1 ホルダー本体

2 取っ手

3 傘

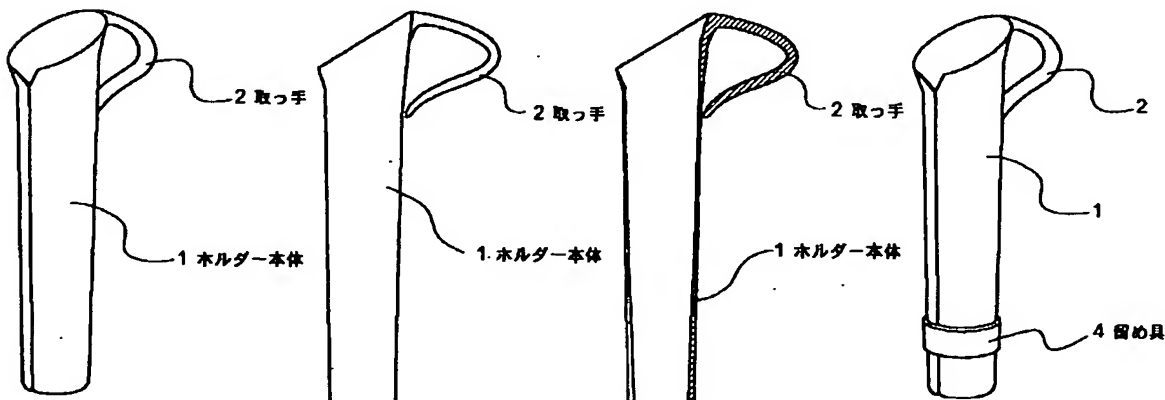
4 留め具

【図1】

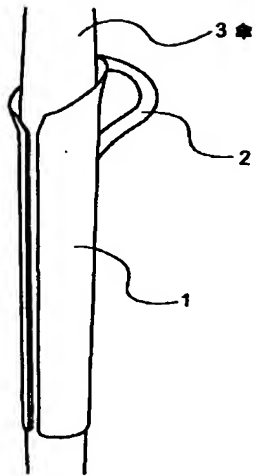
【図3】

【図4】

【図6】



【図2】



【図5】

